

## 三重県経済の現状と見通し<2025年10月>

### 1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	水準評価 ※1	基調判断(前月比較)※2	
				詳細
総括判断	景気の現状			一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる 住宅投資や輸出に弱さがみられるものの、観光や公共投資は持ち直しているなど、持ち直しの動きがみられる。
家計部門	個人消費			持ち直している 勤労者世帯・消費支出は、2か月連続の前年比減少
	住宅投資			減少傾向にある 住宅着工戸数は、5か月連続の前年比減少
	観光			回復傾向にある 外国人宿泊者数は、7か月連続の前年比増加
	雇用・所得			持ち直し傾向が一服 有効求人倍率(季節調整値)は、2か月ぶりの低下
企業部門	企業活動			足踏み 鉱工業生産指数は、2か月連続の前年比低下
	企業倒産			悪化しつつある 倒産件数は、2か月ぶりの前年比増加
	設備投資			持ち直しの兆し 民間非居住建築物着工面積は、2か月連続の前年比減少
海外部門	輸出			減少している 四日市港通関輸出額は、14か月連続の前年比減少
公共部門	公共投資			持ち直しつつある 公共工事請負金額は、2か月連続の前年比増加
その他	物価			上昇している 津市消費者物価指数(生鮮食品を除く)は、44か月連続の前年比上昇

#### 当面の見通し

物価高や世界経済の不透明感から、景気持ち直しのテンポは弱まる見通し

個人消費の回復が期待される一方、トランプ政権の関税政策やウクライナ情勢の動向など世界経済を巡る不透明感は強く、景気持ち直しのテンポは弱まる見通し。

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、

●: 晴、●|●: 晴～曇、●|▲: 曇、●|▼: 曇～雨、▼: 雨、を示す。

※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、

↗: 上方修正、➡: 据え置き、↘: 下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)  
したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

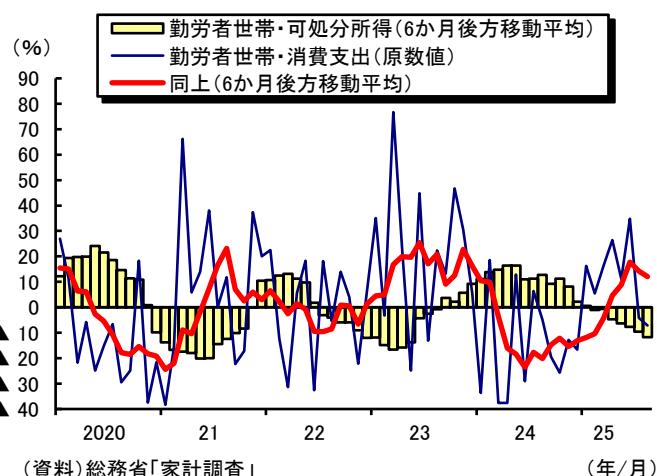
お問い合わせ先	三十三総研 調査部 中野
	電話: 059-354-7102 Mail: 33ir@33bank.co.jp

## 2. 個別部門の動向: 家計部門

個人消費	水準評価		→	詳細	持ち直している
	基調判断	前月比較			
<p>○個人消費は、持ち直している。</p> <p>○個人消費の動向を支出者側からみると、8月の勤労者世帯消費支出(津市)は前年比▲7.2%と2か月連続の減少(図表1)。勤労者世帯可処分所得(津市)は同▲10.0%と6か月連続の減少。</p> <p>○個人消費の動向を販売者側からみると、8月の大型小売店販売額(百貨店とスーパーの合計額)は、全店ベースは前年比+1.5%、既存店ベースも同+0.4%とともに6か月連続の増加(図表2)。全店ベースを商品別にみると、飲食料品(同+1.7%)が10月連続で増加し、全体を押し上げ。</p> <p>○9月の新車乗用車販売台数(含む軽)は、7,345台(前年比+0.9%)となり、前年比で3か月ぶりの増加(図表3)。車種別にみると、小型車(同▲1.4%)は2か月連続で減少した一方、軽乗用車(同+1.7%)は2か月連続で増加、普通車(同+1.3%)は7か月ぶりに増加した。</p> <p>◆見通し◆</p> <p>○東海地域の現状判断DI(内閣府「景気ウォッチャー調査」)をみると、8月の家計部門の水準は45.5と9か月連続で好不況の分かれ目となる50を下回った。2~3か月先の先行きに対する判断DIについては、47.0と前月(47.0)から横ばいで推移し、好不況の分かれ目の50を17か月連続で下回った。引き続き、所得環境の改善や株高を受けた資産効果による個人消費の回復に期待が持てる一方、長引く物価上昇が懸念材料に。</p>					

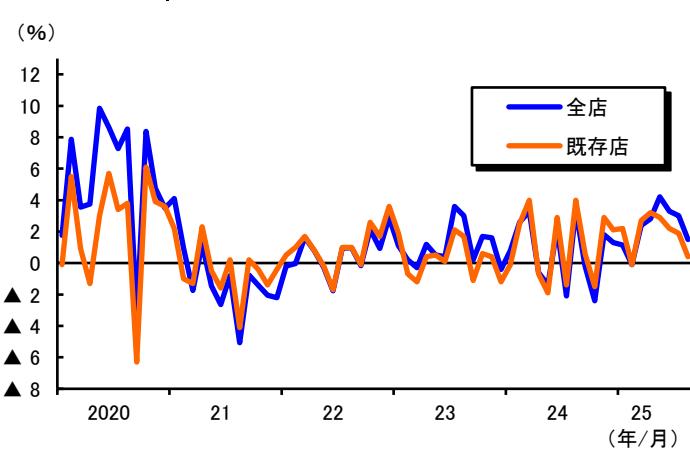
◆8月 勤労者世帯・消費支出
○ 303千円 前年比 ▲7.2% (2か月連続の減少)
◆8月 大型小売店販売額
○ 全店 前年比 +1.5% (6か月連続の増加)
○ 既存店 前年比 +0.4% (6か月連続の増加)
◆9月 新車乗用車販売台数<含む軽>
○ 7,345台 前年比 +0.9% (3か月ぶりの増加)
・普通車 2,945台 前年比 +1.3% (7か月ぶりの増加)
・小型車 1,374台 前年比 ▲1.4% (2か月連続の減少)
・軽乗用車 3,017台 前年比 +1.7% (2か月連続の増加)

図表1 津市消費支出等&lt;前年比&gt;



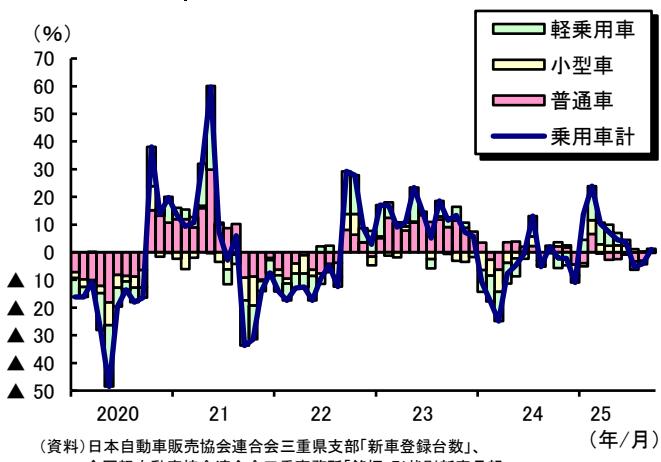
(資料)総務省「家計調査」

図表2 大型小売店販売額&lt;前年比&gt;



(資料)経済産業省「商業動態統計」

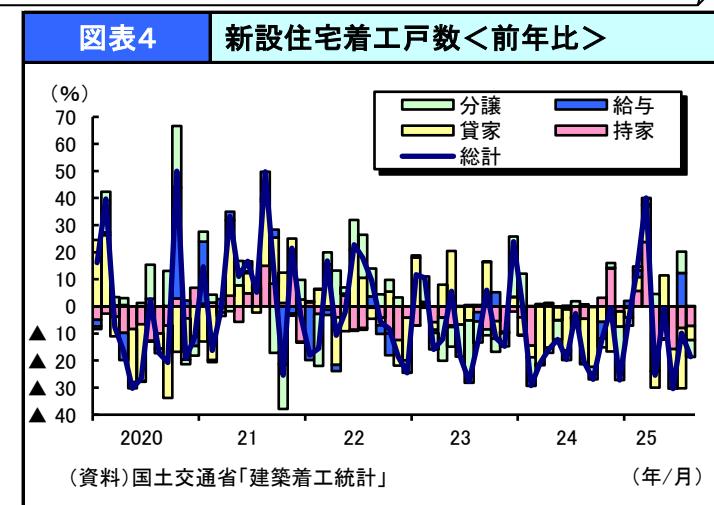
図表3 新車乗用車販売台数&lt;前年比&gt;



(資料)日本自動車販売協会連合会三重県支部「新車登録台数」、全国軽自動車協会連合会三重事務所「銘柄・形状別新車月報」

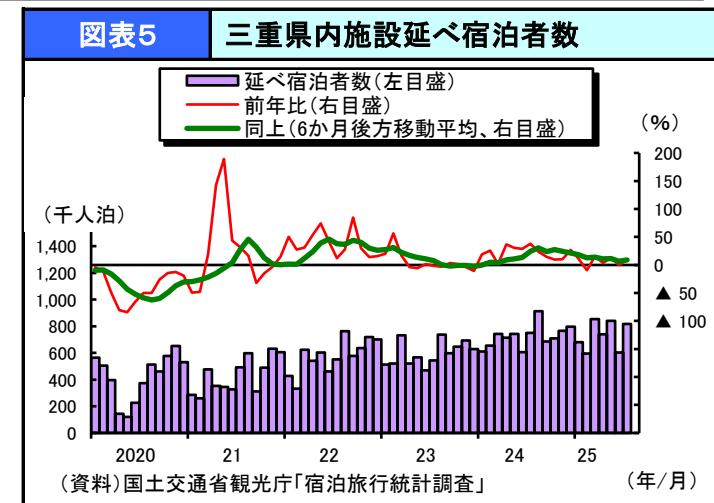
住宅投資	水準評価		⇒	詳細	減少傾向にある
	基調判断	前月比較			
<p>◆現状</p> <p>○住宅投資は、減少傾向にある。</p> <p>○8月の住宅着工戸数は、571戸(前年比▲18.5%)となり、前年比で5か月連続の減少(図表4)。利用関係別にみると、持家(同▲13.2%)が5か月連続、貸家(同▲21.1%)が3か月連続、分譲住宅(同▲30.6%)が3か月ぶりにそれぞれ減少。</p> <p>◆見通し</p> <p>○先行きは資材価格の高止まりなどに伴う住宅価格の上昇、金融政策の変更に伴う住宅ローン金利の上昇懸念に加え、2025年4月から建築物省エネ法と建築基準法が改正されたことによる省エネ基準の厳格化を受け、住宅投資の抑制が長引く恐れも。</p>					

◆8月 住宅着工戸数		
○ 571戸	前年比 ▲18.5%	(5か月連続の減少)
・持家	334戸	
・貸家	135戸	前年比 ▲13.2% (5か月連続の減少)
・給与住宅	2戸	前年比 ▲21.1% (3か月連続の減少)
・分譲住宅	100戸	前年比 +100% (2か月連続の増加)
	前年比 ▲30.6%	(3か月ぶりの減少)



観光	水準評価		⇒	詳細	回復傾向にある
	基調判断	前月比較			
<p>◆現状</p> <p>○観光は、回復傾向にある。</p> <p>○7月の三重県内施設延べ宿泊者数は、818千人泊(前年比+9.0%)となり、前年比で2か月ぶりの増加(図表5)。外国人宿泊者数は23千人泊(同+21.0%)と、前年比で7か月連続の増加。</p> <p>◆見通し</p> <p>○三重県の伊勢、志摩、鳥羽の3市などからなる伊勢志摩観光コンベンション機構は伊勢神宮が20年に1回社殿を建て替える2033年の式年遷宮に向けた観光活性化の長期プロジェクトを開始。今後、大都市圏でのプロモーションや周遊キャンペーン、二次交通の改善などに取り組むことで伊勢志摩エリア3市1町の2028年の延べ宿泊客数を、前回の式年遷宮があった2013年に比べ9%増の458万人に引き上げる方針。</p>					

◆7月 県内施設延べ宿泊者数		
○ 818千人泊	前年比 +9.0%	(2か月ぶりの増加)
・外国人 23千人泊	前年比 +21.0%	(7か月連続の増加)



雇用・所得	水準評価		→	詳細	持ち直し傾向が一服			
	基調判断	前月比較						
<b>《現状》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○雇用・所得情勢は、持ち直し傾向が一服。</li> <li>○8月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.14倍(前月差▲0.02ポイント)と2か月ぶりの低下。新規求人倍率(季節調整値)も、2.03倍(同▲0.09ポイント)と2か月ぶりの低下(図表6)。</li> <li>○8月の新規求人数は、学卒・パートを除くベースで前年比+0.2%と2か月連続の増加(図表7)。業種別にみると、製造業(同+2.2%)では輸送用機械(同▲36.5%)などが減少した一方、生産用機械(同+64.9%)や電気機械(同+38.2%)などが増加した。非製造業では、建設業(同▲9.8%)や卸売業、小売業、(同▲13.2%)などが減少した一方、サービス業(同+20.3%)や運輸、郵便業(同+27.4%)などが増加した。</li> <li>○7月の所定外労働時間指数は、前年比+1.8%と14か月連続の上昇。名目賃金指数(同+5.8%)は16か月連続、きまつて支給する給与(同+2.7%)は25か月連続の上昇(図表8)。</li> </ul>								
<b>《見通し》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○所得については、物価高を踏まえたペアの広がりや最低賃金の上昇、人手不足感の深刻化を受けて今後も幅広い業種で賃金上昇が期待される。</li> </ul>								
<b>◆8月 求人倍率&lt;季節調整値&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有効求人倍率 1.14倍 前月差 ▲0.02ポイント (2か月ぶりの低下)</li> <li>○ 新規求人倍率 2.03倍 前月差 ▲0.09ポイント (2か月ぶりの低下)</li> </ul> <b>◆8月 新規求人数&lt;学卒・パートタイム除く&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前年比 +0.2% (2か月連続の増加)</li> </ul> <b>◆7月 労働時間・賃金指数&lt;調査産業計&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定外労働時間指数 前年比 +1.8% (14か月連続の上昇)</li> <li>○ 名目賃金指数 前年比 +5.8% (16か月連続の上昇) ・きまつて支給する給与 前年比 +2.7% (25か月連続の上昇)</li> </ul>								
<b>図表6 有効・新規求人倍率&lt;季節調整値&gt;</b> <p>(資料)三重労働局「労働市場月報」</p>								
<b>図表7 新規求人数&lt;学卒・パート除く&gt;</b> <p>(資料)三重労働局「労働市場月報」</p>								
<b>図表8 労働時間・賃金指数 &lt;調査産業計、前年比&gt;</b> <p>(資料)三重県戦略企画部統計課「毎月勤労統計調査」</p>								

## 3. 個別部門の動向:企業部門

企業活動	水準評価		⇒	詳細	足踏み			
	基調判断	前月比較						
<b>◆現状</b>								
<p>○企業の生産活動は、足踏みしている。</p> <p>○8月の鉱工業生産指数は、前年比▲6.0%と2か月連続の低下(図表9)。業種別にみると、食料品工業(同+24.9%)などが上昇した一方、電子部品・デバイス工業(同▲22.7%)や化学工業(同▲4.7%)などが低下した。</p>								
<b>◆見通し</b>								
<p>○先行き生産は、日米関税交渉が合意に至り、自動車にかかる関税は当初の25%から15%に引き下げられ、予想していたシナリオより影響が緩和されることや不透明感が払拭されたことから、持ち直しの傾向となる見通し。</p> <p>○井村屋(津市)は津工場内に新たなアイス工場を建設すると発表した。「あづきバー」シリーズを中心とした冷凍食品の供給体制強化と新たな付加価値の創出を目的に、約40億円を投じて延べ面積2,276m<sup>2</sup>の新工場を建設する。竣工は2026年6月を予定。</p>								
<p><b>◆8月 鉱工業生産指数&lt;2020年=100&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 90.8 前年比 ▲6.0% (2か月連続の低下)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用・生産用・業務用機械工業 前年比 ▲1.9% (3か月ぶりの低下)</li> <li>・電子部品・デバイス工業 前年比 ▲22.7% (2か月連続の低下)</li> <li>・輸送機械工業 前年比 ▲1.1% (3か月ぶりの低下)</li> <li>・化学工業 前年比 ▲4.7% (4か月連続の低下)</li> </ul> </li> </ul>			<p><b>図表9 鉱工業生産指数&lt;前年比&gt;</b></p> <p>(資料)三重県戦略企画部統計課「鉱工業生産指数」</p>					
企業倒産	水準評価		⇒	詳細	悪化しつつある			
<b>◆現状</b>								
<p>○企業倒産は、悪化しつつある。</p> <p>○9月の県下倒産状況(負債総額1,000万円以上)をみると、件数は12件(前年比+4件)と2か月ぶりの増加。負債総額は491百万円(前年差▲460百万円)と2か月連続の減少(図表10)。</p>								
<b>◆見通し</b>								
<p>○新型コロナ対策として実施された「ゼロゼロ融資」の返済本格化から一定期間経過するなか、金利上昇や物価高を受け、中小企業の経営環境は厳しさを増しており、企業倒産は増勢基調をたどる懸念も。</p>								
<p><b>◆9月 企業倒産</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 倒産件数 12件 前年比 +4件 (2か月ぶりの増加)</li> <li>○ 負債総額 491百万円 前年比 ▲460百万円 (2か月連続の減少)</li> </ul>			<p><b>図表10 倒産件数・負債総額&lt;負債総額1,000万円以上&gt;</b></p> <p>(資料)株東京商エリサーチ津支店</p>					

設備投資	水準評価		→	詳細	持ち直しの兆し			
	基調判断	前月比較						
<p>◆現状</p> <p>○企業の設備投資は、持ち直しの兆し。</p> <p>○8月の民間非居住建築物着工床面積は、39千m<sup>2</sup>(前年比▲34.4%)と前年比で2か月連続の減少。9月の貨物車登録台数(除く軽)は、448台(同+3.7%)と前年比で6か月ぶりの増加(図表11)。</p>								
<p>◆見通し</p> <p>○製氷メーカーの中勢製氷冷蔵(津市)は、あのつ台工場に新棟を建設する。天然水の純氷などの製氷機能を従来から6割強引き上げる。投資額は約11億円で、2026年4月の稼働を目指す。</p>								
<p>◆8月 民間非居住建築物着工床面積</p> <p>○ 39千m<sup>2</sup> 前年比 ▲34.4% (2か月連続の減少)</p> <p>◆9月 貨物車登録台数</p> <p>○ 448台 前年比 +3.7% (6か月ぶりの増加)</p>								
<p><b>図表11 機械投資関連指標&lt;前年比&gt;</b></p> <p>(資料)国土交通省「建築着工統計」、 日本自動車販売協会連合会三重県支部「新車登録台数」</p>								

#### 4. 個別部門の動向: 海外部門

輸出	水準評価		→	詳細	減少している			
	基調判断	前月比較						
<p>◆現状</p> <p>○輸出は、減少している。</p> <p>○9月の四日市港通関輸出額は、826億円(前年比▲6.6%)となり、前年比で14か月連続の減少(図表12)。品目別にみると、自動車の部分品(同+19.2%)などが増加した一方、乗用車(同▲21.2%)や電気回路等の機器(同▲24.9%)などが減少。</p>								
<p>◆見通し</p> <p>○日米関税交渉が合意に至り、当初の関税率から引き下げられたことから、自動車産業を中心に底堅く推移する見通し。</p>								
<p>◆9月 四日市港通関輸出額</p> <p>○ 826億円 前年比 ▲6.6% (14か月連続の減少)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石油製品 51億円 前年比 +4.5% (7か月ぶりの増加)</li> <li>・有機化合物 55億円 前年比 ▲22.5% (5か月連続の減少)</li> <li>・電気回路等の機器 56億円 前年比 ▲24.9% (14か月連続の減少)</li> <li>・乗用車 72億円 前年比 ▲21.2% (2か月連続の減少)</li> <li>・自動車の部分品 99億円 前年比 +19.2% (2か月連続の増加)</li> <li>・科学光学機器 1億円 前年比 ▲75.6% (5か月連続の減少)</li> </ul>								
<p><b>図表12 四日市港通関輸出額&lt;前年比&gt;</b></p> <p>(資料)名古屋税關四日市支署「管内貿易概況」</p>								

## 5. 個別部門の動向: 公共部門

公共投資	水準評価		→	詳細	持ち直しつつある			
	基調判断	前月比較						
<p>◆現状</p> <p>○公共投資は、持ち直しつつある。</p> <p>○9月の公共工事請負状況をみると、請負件数は497件(前年比▲2.9%)と4か月ぶりの減少。請負金額は220億円(同+12.3%)と3か月連続の増加(図表13)。請負金額を発注者別にみると、独立行政法人等(同▲84.3%)、が減少したものの、国(+28.7%)、県(+21.5%)、市町(+15.2%)がそれぞれ増加。</p>								
<p>◆見通し</p> <p>○6月30日に2025年度の補正予算案が成立。一般会計総額は22.9億円で米関税措置による影響が懸念される中小業や農水産業者等に対する支援、エネルギー消費の増加が見込まれる生活者や中小企業等の事業者への支援などに重点配分する。</p>								
<p>◆9月 公共投資</p> <p>○公共工事請負件数 497件 前年比 ▲2.9% (4か月ぶりの減少)</p> <p>○公共工事請負金額 220億円 前年比 +12.3% (3か月連続の増加)</p>								
<p><b>図表13 公共工事請負金額</b></p> <p>(資料)東日本建設業保証株三重支店</p>								

## 6. 個別部門の動向: その他

物価	水準評価		→	詳細	上昇している			
	基調判断	前月比較						
<p>◆現状</p> <p>○物価は、上昇している。</p> <p>○9月の津市消費者物価指数(生鮮食品を除く)は前年比+3.0%と44か月連続の上昇(図表14)。生鮮食品を除く食料(同+8.1%)や交通・通信(同+2.8%)など、多くの項目で上昇。</p>								
<p>◆見通し</p> <p>○エネルギー価格上昇の影響や企業の価格転嫁が想定を上回る水準で進んでおり、今後も消費者物価は上昇が続く見通し。なお、自民党の小野寺税制調査会長が、ガソリン税に上乗せされている旧暫定税率と同額分の値下げ完了が12月中旬になると明らかにしており、ガソリン価格は低下する見通し。</p>								
<p>◆9月 消費者物価指数&lt;生鮮食品を除く、2020年=100&gt;</p> <p>○110.6 前年比 +3.0% (44か月連続の上昇) ・食料(生鮮食品を除く)     前年比 +8.1% (50か月連続の上昇) ・住居     前年比 +0.1% (8か月連続の上昇) ・光熱・水道     前年比 +2.7% (2か月ぶりの上昇) ・交通・通信     前年比 +2.8% (11か月連続の上昇) ・教養娯楽     前年比 +1.8% (33か月連続の上昇)</p>								
<p><b>図表14 津市消費者物価指数&lt;前年比&gt;</b></p> <p>(資料)総務省「消費者物価指数」</p>								

# 県内経済トピックス

(2025年9月)

## 1. バスタ四日市のデザイン案示される

- 三重県四日市市中心部の中央通り一帯の再編を考える市の関係者調整会議で、国土交通省 三重河川国道事務所などの部会は、近鉄四日市駅東側に計画するバスターミナル「バスタ四日市」のデザイン案を示した。計12のバス停を設けるほか、一帯に7つの建物を配置し、高速バスのチケット販売所や調理場を備えた収益施設として活用することとした。
- 国土交通省は市の中央通り再編事業に合わせて、同駅から国道1号までの中央通り北側にバスタを整備する計画。デザイン案では、市が建設している円形デッキとバスタを結ぶ「駅前デッキ」に2棟の建物を設け、うち1棟は調理場と座席を設けてテナントを募集する。

## 2. 四日市市で記録的な豪雨 冠水など相次ぐ

- 9月12日、四日市市では、午後10時すぎまで1時間の降水量が観測史上最も多い123.5ミリを観測。市が中心市街地の治水対策で想定している1時間75ミリを大きく上回る雨量だった。
- 近鉄四日市駅周辺は午後10時ごろから水に漬かり、水位はみるみる上昇。商店街側から流れた水は、階段や車両の出入り口を通して、同駅前にある地下駐車場「くすの木パーキング」へと流れ込んだ。
- 駐車場は地下2階が完全に水没、地下1階も1.2メートルまで水に漬かった。運営する市の第三セクター「ディア四日市」によると、水が流れ込んだ当時、監視員2名は利用者の退避、誘導などに追われ、階段や出入り口に止水版を設置できなかった。

## 3. 津エアポートライン、新たな船を建造へ

- 9月22日、津市は津なぎさまちと中部国際空港を結ぶ高速船「津エアポートライン」について、現在故障中のフェニックスを処分し、新たな船を建造する方針を示した。当面は代替船舶を確保し、早ければ12月にも2隻体制での運航再開を目指す。
- 前葉泰幸市長は会見で「最適な船舶をどう造るか、運航体制をどうするか、津エアポートラインの協力を得ながら検討していきたい」と述べた。
- 高速船は中部国際空港の開港に合わせ、2005年2月に運航を開始。空港と三重県をつなぐ唯一の海上アクセス航路として、年間20万人前後が利用する。

(出典)中日新聞

以上

## 景 気 指 標

三十三総研

2025/10/31

## &lt;三重県&gt;

(注) ( )内は前年(同期(月))比 &lt; &gt;内は季節調整済前期(月)比

	2023 年	2024 年	2024年 10~12月	2025年			2025年				
				1~3月	4~6月	7~9月	5月	6月	7月	8月	9月
大型小売店販売額(全店) 同 (既存店)	( 1.1) ( 0.3)	( 0.7) ( 1.1)	( 0.3) ( 1.2)	( 1.2) ( 1.7)	( 3.4) ( 2.8)		( 4.2) ( 2.9)	( 3.3) ( 2.2)	( 3.0) ( 1.9)	( 1.5) ( 0.4)	
新車販売台数(軽を除く、台) うち乗用車販売台数(台)	54,820 ( 13.8)	54,634 (▲ 0.3)	13,070 (▲ 2.9)	15,297 ( 12.3)	11,842 (▲ 0.4)	12,917 (▲ 3.4)	3,609 (▲ 0.8)	4,501 ( 0.9)	4,616 (▲ 4.9)	3,434 (▲ 6.9)	4,867 ( 0.7)
新車軽自動車販売台数(台) うち乗用車販売台数(台)	39,708 ( 4.7)	34,947 (▲ 12.0)	8,912 (▲ 12.1)	10,520 ( 20.3)	8,402 ( 9.9)	9,482 (▲ 1.7)	2,594 ( 9.8)	2,992 ( 3.5)	3,167 (▲ 2.6)	2,582 (▲ 3.5)	3,733 ( 0.3)
新設住宅着工戸数(戸) 新設住宅着工戸数(戸)	9,224 (▲ 6.9)	7,751 (▲ 16.0)	1,803 (▲ 13.8)	2,182 ( 15.3)	1,594 (▲ 18.6)		669 (▲ 0.7)	470 (▲ 30.4)	659 (▲ 10.0)	571 (▲ 18.5)	
県内施設延べ宿泊者数(千人泊) 有効求人倍率(季調済)	7,176 ( 3.3)	8,692 ( 21.1)	2,272 ( 15.3)	2,128 ( 6.0)	2,184 ( 6.0)		840 ( 13.2)	604 (▲ 0.3)	818 ( 9.0)		
新規求人倍率(季調済) 新規求人倍率(季調済)	1.31 2.08	1.17 1.94	1.13 1.91	1.16 2.04	1.16 1.97		1.16 1.97	1.13 1.80	1.16 2.12	1.14 2.03	
新規求人倍率(学卒・パート除く、人) 名目賃金指数(調査産業計)	78,847 (▲ 8.3)	74,467 (▲ 5.6)	18,390 (▲ 3.8)	19,394 (▲ 0.9)	18,133 (▲ 0.2)		5,829 ( 0.5)	5,802 (▲ 0.1)	6,834 ( 3.2)	5,697 ( 0.2)	
実質賃金指数(同) 所定外労働時間(同)	(▲ 2.7) (▲ 11.7)	( 1.3) ( 2.2)	( 2.4) ( 10.1)	(▲ 0.7) ( 5.8)	(▲ 2.2) ( 6.0)		(▲ 1.6) ( 7.6)	( 0.8) ( 5.8)	( 5.8) ( 1.8)	( 5.8) ( 0.0)	
常用雇用指数(同) 鉱工業生産指数	( 3.2) (▲ 5.1)	( 1.9) ( 0.4)	( 1.2) (▲ 0.2)	( 7.3) ( 1.9)	( 1.9) ( 1.9)		( 0.5) ( 15.8)	( 5.3) (▲ 11.9)	(▲ 5.4) (▲ 3.5)	(▲ 6.0) (▲ 2.6)	
生産者製品在庫指数 企業倒産件数(件)	( 1.5) -	(▲ 8.9) -	(▲ 3.5) <▲ 3.4>	(▲ 0.7) <▲ 1.7>	( 12.2) < 8.1>		( 18.4) < 15.8>	( 11.7) < 11.6>	( 12.1) <▲ 3.2>	( 5.4) <▲ 1.9>	
民間非居住建築物着工床面積(千m <sup>2</sup> ) 企業倒産件数(件)	553 (▲ 29.7)	574 ( 3.8)	135 ( 16.2)	93 (▲ 35.3)	228 ( 104.5)		57 (▲ 2.7)	72 ( 140.3)	32 (▲ 49.4)	39 (▲ 34.4)	
県内外国貿易 純輸出(百万円) 輸出(百万円)	▲ 1,324,497 1,124,612 ( 1.9)	▲ 1,294,042 1,133,799 ( 0.8)	▲ 314,264 305,788 (▲ 10.7)	▲ 354,616 269,475 (▲ 2.3)	▲ 222,064 270,934 (▲ 7.8)	▲ 227,149 269,425 (▲ 1.2)	▲ 59,613 76,626 (▲ 17.7)	▲ 41,761 99,361 ( 5.3)	▲ 41,503 101,486 ( 8.4)	▲ 93,248 73,427 (▲ 18.8)	▲ 92,398 94,512 ( 6.5)
四日市港 輸出(百万円)	1,075,841 ( 2.1)	1,091,240 ( 1.4)	300,503 (▲ 9.9)	244,731 (▲ 11.2)	247,223 (▲ 11.1)	245,955 ( 8.0)	76,613 (▲ 12.9)	87,554 (▲ 1.5)	89,955 (▲ 3.9)	73,418 (▲ 14.0)	82,582 (▲ 6.6)
輸入(百万円)	2,449,109 (▲ 7.6)	2,427,841 (▲ 0.9)	620,052 (▲ 10.7)	624,091 ( 4.0)	492,998 (▲ 23.9)	496,574 (▲ 23.9)	136,240 (▲ 36.9)	141,122 (▲ 29.4)	142,989 (▲ 34.5)	166,676 (▲ 27.4)	186,910 (▲ 8.6)
公共工事請負金額(億円)	1,844 (▲ 3.7)	2,004 ( 8.7)	340 ( 1.7)	290 (▲ 33.5)	792 ( 22.0)	687 ( 18.6)	151 ( 37.0)	245 (▲ 9.5)	274 ( 41.5)	192 ( 1.7)	220 ( 12.3)
津市消費者物価指数 同 (除く生鮮)	( 2.9) ( 2.7)	( 2.4) ( 2.2)	( 3.1) ( 2.7)	( 3.6) ( 3.0)	( 3.1) ( 3.2)	( 2.7) ( 2.7)	( 3.0) ( 3.1)	( 2.6) ( 2.7)	( 2.8) ( 2.8)	( 2.5) ( 2.4)	( 2.9) ( 3.0)

## &lt;東海3県(三重・愛知・岐阜)&gt;

	2023 年	2024 年	2024年 10~12月	2025年			2025年				
				1~3月	4~6月	7~9月	5月	6月	7月	8月	9月
大型小売店販売額(全店) 同 (既存店)	( 1.6) ( 0.9)	( 2.7) ( 3.2)	( 0.7) ( 1.8)	( 1.9) ( 2.8)	( 1.6) ( 1.7)		( 2.6) ( 2.4)	(▲ 0.1) (▲ 0.1)	( 1.0) ( 1.4)	( 2.7) ( 1.9)	
新設住宅着工戸数(戸) 新設住宅着工戸数(戸)	73,459 (▲ 8.3)	72,757 (▲ 1.0)	17,880 (▲ 1.8)	18,545 (▲ 1.5)	13,669 (▲ 21.8)		4,392 ( 2.1)	5,333 ( 2.6)	6,167 ( 3.1)	5,790 ( 2.9)	
有効求人倍率(季調済) 新規求人倍率(季調済)	1.39 2.39	1.31 2.35	1.29 2.34	1.31 2.41	1.31 2.35		1.32 2.35	1.28 2.30	1.29 2.35	1.27 2.33	
鉱工業生産指数 企業倒産件数(件)	( 3.5) -	(▲ 2.8) -	(▲ 1.1) < 2.0>	( 7.0) < 3.7>	( 1.0) <▲ 4.2>		(▲ 3.4) < 5.1>	( 4.5) <▲ 4.0>	(▲ 1.0) <▲ 1.2>	(▲ 1.4) < 0.6>	
民間非居住建築物着工床面積(千m <sup>2</sup> ) 企業倒産件数(件)	799 ( 265)	868 ( 69)	223 ( 7)	220 ( 24)	209 ( 0)	263 ( 23)	68 (▲ 21)	75 ( 13)	102 ( 8)	77 ( 4)	84 ( 11)
域内外国貿易 純輸出(億円) 輸出(億円)	88,899 ( 11.5)	99,401 ( 6.0)	28,206 ( 0.7)	23,384 ( 2.8)	24,488 ( 1.7)	24,248 (▲ 0.8)	6,382 (▲ 0.9)	9,073 (▲ 1.9)	9,174 ( 8)	6,649 ( 4)	8,425 ( 11)
輸入(億円)	212,571 ( 0.1)	225,311 ( 1.8)	60,353 (▲ 2.2)	56,625 ( 12.7)	55,354 (▲ 2.1)	55,837 (▲ 1.5)	16,611 (▲ 1.5)	18,941 (▲ 1.9)	19,747 ( 7.8)	16,496 (▲ 6.7)	19,594 ( 4.0)

:各指標における直近の数値